

アカマツ

令和6年度 特別号
11月29日

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に第6学年を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」の北海道版結果報告書が11月、北海道教育委員会より公表されました。新聞、テレビ、web等をご覧になった方も多くいらっしゃると思います。本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることや学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てること等を目的として、毎年4月に全国の6年生を対象にして実施されています。

本年度、調査対象となった教科は「国語」「算数」の2教科で、いずれも、複合的に学力を調査する問題形式となっており、記述式の問題が含まれています。また、学習意欲や学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する児童質問調査がタブレット端末を活用して行われました。

今回、本校の実施結果から、現状や課題を分析しました。それを受け、今後の方策を決定しました。学校ではこの方策を進めて行き、課題の克服と子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を育んでいきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



国語 全国平均を大きく越える

○成果が見られた点 ●課題が見られた点

【話すこと・聞くこと】

○目的や意図に応じて、伝え合う内容を検討する。

●資料を活用し、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。

【書くこと】

○目的や意図に応じて、書き表し方を工夫する。(記述式)

【読むこと】

○物語文の描写を基に人物の心情や表現の効果を考える。

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

○漢字を書く。主語と述語を見つける。



今後の方策

◎全教科において「話す・聞く」場面の設定。

・伝えたいことを明確にし、互いの意見の共通点や相違点に着目させる。

・資料や実物、ICTなどを活用して分かりやすく伝える工夫をさせる。

◎全教科・全学年を通した「書く活動」の継続。

・事実と感想、意見を区別して書く活動。

◎相手や場面に応じて言葉を使い分け適切な言葉・漢字を使うという意識をもたせる。

算数 全道平均とほぼ同じ

○成果が見られた点 ●課題が見られた点

【数と計算】

●乗法の性質を使って計算の仕方を工夫する。(記述式)

【図形】

●直方体の見取り図について、辺として正しいものを選ぶ。

●五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く。

【変化と関係】

○道のりが等しく、時間が異なる二人の速さについてどちらが速いか判断し、そのわけを書く。

【データの活用】

○折れ線グラフを読み取り、条件に当てはまることを言葉・数を用いて説明する。

○円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る。



今後の方策

◎計算や図形の性質など基礎・基本の定着を図る。

◎自分の考えを「言葉や式・図」などを使って表現させ、簡潔で明確に説明できるようにする。

学習と生活

○成果が見られた点

●課題が見られた点

○「朝食を食べる」「早寝・早起きができる」児童が多い。

○将来の夢や目標を持ち、「自分にはよいところがある」「人の役に立つ人間になりたい」と答えた児童が多い。

○「理科の勉強が楽しい」と答えた児童が多い。

●「国語・算数の学習が大切」と感じているが、「国語・算数の勉強が好きではない」と思う児童がいる。

●放課後・週末の過ごし方ではゲーム・動画・SNSなどメディアに触れる時間が多い。

●家庭学習への取り組みでは目安の時間(6年生で70分以上)に取り組んでいる子とそうでない子の差が大きい。



今後の方策

◎少人数指導等を通じて一人一人がわかる授業を目指す。

◎家庭での望ましい生活習慣について自己啓発を促す。

◎ICT機器の望ましい使い方や約束の徹底。

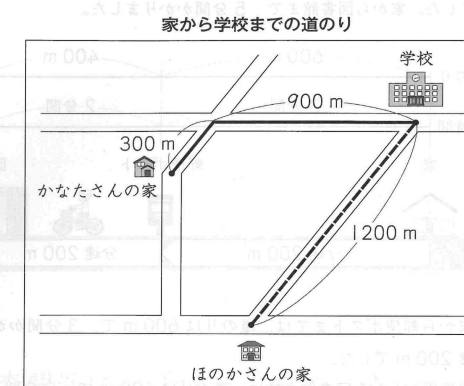
◎読書習慣の定着。

◎家庭学習の取り組みへの継続を促す。



令和6年度 記述式問題

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。

家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 かなたさん
2 ほのかさん

三 原さんは、鳥さんと話し合ったあと、「物語」を読んで、心に残ったところとその理由をまとめています。あなたなら、「物語」を読んで、心に残ったところとその理由をどのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)
○ 心に残ったところと、心に残った理由を書くこと。

○ 「物語」から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 六十以上、百字以内にまとめて書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用のもので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。